



学校法人 日本芸術学園
日本芸術高等学園

令和2年度 自己点検・評価報告書

令和3年8月1日

<教育理念>

「感動の教育」… 感動は人生を開く。感動が人生を起こし、行動が人生を変える

「品格の教育」… 知識・技術・人格・礼節を兼ね備えた、品格ある人間の教育

「変革の教育」… 変革（Change）・挑戦（Challenge）・達成（Conquest）

<教育の特色>

生徒が主体的に学べる教育カリキュラムの編成に取り組み、すべての生徒にかけがえのない宝物を提供する「Precious Treasure 教育」を推進している。

<教育の目標と重点>

目標① エンターテインメント業界に要望されるプロフェッショナルの養成
・実技教科の充実（演技系5教科、ダンス系5教科、音楽系9教科）

目標② 芸術表現・創造を通じて人間理解を深め人格形成を培う
芸術鑑賞及び学校行事の充実
・芸術鑑賞 劇団四季「オペラ座の怪人」、「木下大サーカス」鑑賞
・校外学習 「富士急ハイランド」、「八景島シーパラダイス」
・文化発表展、感謝祭の開催

目標③ 社会自立のために技術や専門知識、また、人格と礼節を兼ね備えた、基礎的な教養や生活力を身につけさせ、実社会に送り出す
・国語、英語、社会の座学教科指導

<進路指導の充実教育>

- ・大学進学 約 36% 前年度の 12%から大きく増加
- ・専門進学 約 36%
- ・芸能活動 約 28%

<教育課程>

・カリキュラムの特色化と適切性
エンターテインメント業界で活躍できる人材として技術を磨くとともに、社会人基礎力を涵養し、育成を目指している。

・教育システム全体の工夫と充実
生徒の習熟度を測りながら、2年次より選択科目も導入し、柔軟に対応。各種学校行事や外部講師、外部講師による講演などを取り入れ、社会とかかわる流動的な機会を確保している。

<教育環境>

- ・コロナ感染対策として、パーティション、サーモカメラ、フェイスシールド等の購入
- ・大型モニターの導入、各クラスに物品ラックを設置
- ・芸能プロダクション各社との連携、所属、情報共有
- ・スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施

<教科指導>

- ・指導計画
年間の教科計画に従って、問題なく進行した。2 学年、3 学年には選択制授業を導入した。
- ・成績評価および授業評価
 - 成績評価
座学教科、実技教科共に平常点およびテスト点を総合し、数値化している。
 - 授業評価
現場経験豊富な講師陣から、対面式の授業に重きを置き、座学教科においても、教科の垣根を越えた連携を強めていく。

<生徒の活動>

- 生徒活動の充実
生徒会を中心に各部活の部長間での連携をはかり、各行事の企画や進行を行い、文化発表展や感謝祭の成功に尽力した。
- 部活動実績
 - ・演劇部、フラダンス部など 15 の部活が活動
 - ・演劇部は高校演劇大会に出場
 - ・フラダンス部は 11 月に行われた「オンラインフラフェスティバル」に出場

<進路指導の充実>

- 1 年次 担任との二者面談、カリキュラムによる学習の充実
- 2 年次 担任との二者面談、進路希望調査の実施
- 3 年次 夏に保護者を含めた三者面談の実施

各大学、短期大学、専門学校等の資料を置き、希望する生徒が閲覧できるようにした。

<安全および危機管理>

- ・ 消防避難訓練の実施
- ・ 消防設備点検の実施
- ・ 定期健康診断の実施

<令和3年度（2021年度）の取り組み>

- ・ シラバスの作成・配布
- ・ 一般授業の充実、実技教科のバランスを整える
- ・ 時代のニーズに合った新しい教科の導入
- ・ 学校連絡システム「e-pa」の導入
- ・ キャンパスガイドの作成
- ・ 風紀・服装規定の見直し

以上